

平成26年度 学校目標

【小学校】

No.	学校名	学 校 目 標
1	八 戸	「目的や相手を意識して考えを伝え合う力の育成を図る」
2	城 下	「基礎的基本的な学力のより深い定着」
3	吹 上	「分かるまで、できるまで粘り強く追究し、自分の考えや思いを生き生きと表現する子どもの育成。（表現する力と追究する力の育成）」
4	長 者	「主体的に活動する子の育成」
5	図 南	「確かな学力の育成（各診断テストを昨年度よりあげる）」
6	中 居 林	「基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付けた子どもの育成を図る」
7	柏 崎	「共に学び、助け合って生活する子の育成」
8	小 中 野	「基礎・基本の確実な定着」
9	江 陽	「語彙力の向上と学習習慣の確立」
10	湊	「聞く力・話す力を育てる～ユニバーサルデザインの視点を生かして～」
11	青 潮	「パワーアップ青潮～認め励ます評価の工夫～」
12	白 銀	「計算力の向上」
13	白 鷗	「問いをもって学び、助け合っくらす子」の育成
14	白 銀 南	「明るいあいさつと正しい言葉づかいができるようにしよう」
15	町 畑	「算数・理科の基礎・基本の確実な定着を図る」
16	美 保 野	「思いや考えを表現し、自分から取り組む子どもの育成」
17	鮫	「生涯学習の基盤として読書を重視し、読書習慣の育成を図る」
18	種 差	「複式学習における学び方を身につけ、自ら学習する子どもの育成」
19	大 久 喜	「基礎学力の確かな定着を図る」
20	金 浜	「子どもの考える力（思考力、判断力、行動力）を育む」
21	根 城	「話し合う力の育成」
22	白 山 台	「学習に対する主体性の向上を図る」
23	江 南	「進んで問題解決に向かう子どもの育成」
24	田 面 木	「自分の考えを説明する力を高める」
25	下 長	「確かな学力の育成を図る」
26	城 北	「計算力の向上を図る～基礎・基本の定着を目指して～」
27	高 館	学びの基礎を育むために、学習習慣を身につけさせ、基礎・基本の確実な定着を図る。
28	根 岸	「学習意欲の向上」
29	日計ヶ丘	(1)アンダーアチーバーの児童を減らし、オーバーアチーバーの児童を増やす (2)俊敏性と持久力を高める (3)整理整頓ができるようにする。
30	是 川	「主体的に働く力を育てる」
31	是 川 東	「基礎学力の定着を図る」
32	三 条	「読み取る力を高める～授業づくりの工夫～」
33	西 園	「基礎・基本」の確実な定着を図る
34	明 治	「算数の学力向上を図る」
35	桔 梗 野	「基礎・基本の確実な定着」
36	轟 木	「基礎的・基本的内容の確かな定着」 (各診断テスト等で偏差値57あるいは全国比110以上を目指す)
37	多 賀	「家庭と連携し、基礎的・基本的な学力を定着させる」
38	多 賀 台	「進んで学び合い、助け合う子の育成」
39	豊 崎	「豊崎の良さがわかる子」
40	新 井 田	「進んで高めようとする子の育成」 ～5つの10分間活動の推進を通して～
41	松 館	「多様な体験を通して豊かな心を育み、進んで自分らしく表現する子に育てる」
42	旭ヶ丘	「生活・学習の基礎・基本が身についた児童」の育成
43	市 野 沢	「ものごとに取り組む意欲の向上」
44	中 野	「言語活動の充実のもと、ともに学び合う子の育成を図る」
45	鳩 田	「おりあいをつけながら、自分の考えをまっすぐに伝え合う力の育成を図る」
46	島 守	「自学のできる子の育成を図る」
47	田 代	「自分の考えを正確かつ適切に伝え合える児童生徒の育成」

【中学校】

1	第一	「基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る」
2	第二	「自分から望ましい人間関係をつくり、自分の思いや考えを表現し、自分のよさを積極的に生かす生徒の育成」
3	第三	「不適応生徒ゼロを目指した教育活動の推進」 ～特別支援教育の視点を生かして～
4	長者	「自ら学び、考え、行動する生徒の育成」
5	小中野	「学力差に考慮し、個に応じた指導を工夫することにより、学力の向上を目指す」
6	江陽	「積極」をキーワードに学習面や生活面で前向きに行動できる生徒の育成
7	湊	「進路実現のために、支えあい、ともに学び合う生徒の育成」
8	白銀	「確実に基礎学力を定着させ、意欲的に学力向上に取り組むことのできる生徒を育成する」
9	白銀南	「良好な人間関係を築き、謙虚に話を聴き、堂々と意見を述べる生徒の育成」
10	鮫	「自己を磨き、他を認め、自主的に活動する中学生を育てる」
11	南浜	「目標を持ち、取り組みを継続する生徒の育成」
12	根城	「何事にも意欲を持って取り組む生徒の育成」 ～自分の思いや考えを発信する表現力の向上を通して～
13	白山台	「進んで人や集団と関わり、個性を認め合う生徒の育成」
14	下長	・主体的、意欲的に学習に取り組む生徒の育成 ・心身ともに、力のある生徒の育成
15	北稜	「課題対応能力の向上」
16	是川	「主体的・意欲的に学習に取り組む生徒」の育成
17	三条	「学び合いの中で、自分の考えを伝えることのできる生徒の育成」
18	明治	「自らの進路を考え、何事にも主体的・意欲的に取り組む生徒の育成」
19	市川	「文武両輪とそれを支える絆シャフトの取組により、『共に成長しあえるコミュニケーション能力の育成』」
20	豊崎	「思いを出し合える仲間たち～あいさつと歌声が響く学び舎」
21	大館	「現状に満足せず、さらに上を目指す向上心を持つ生徒の育成」
22	東	「生徒が自ら望む生き方を実現できる力の育成を図る」
23	中沢	「生徒の学力を高めるための指導法の改善」
24	島守	「表現力を高めよう」
25	田代	「自分の考えを正確かつ適切に伝え合える児童生徒の育成」

平成26年度 学校評価の実施結果（概要）

今年度も市内各小中学校では、学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図ること、及び、評価結果等を広く保護者等に公表して、学校・家庭・地域社会の連携協力による学校づくりを進めるというねらいで、学校評価を実施しました。

八戸市教育委員会では、学校運営の改善と発展を目指し、学校評価を実効性あるものとする観点から、学校目標に即して精選された重点施策を設定するとともに評価基準を明確にし、学校評価を実施・報告していただきました。

ここでは、市内全小・中学校から報告された学校評価結果について概要を報告します。

1 各校の学校目標について

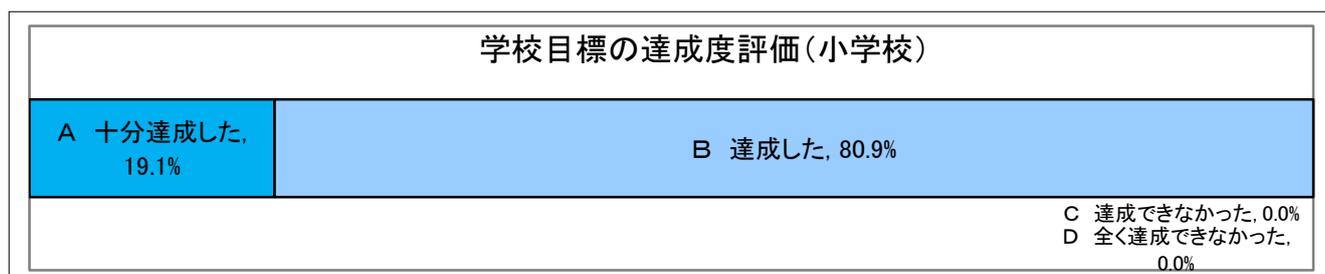
- ・各学校では、前年度の学校評価結果、児童生徒の実態などを考慮し、今年度、短期的に特に重点を置いて達成を目指したいと考える学校目標を設定して取り組んできました。
- ・今年度も、昨年度と同様に、確かな学力・基礎学力の向上を学校目標に設定して取り組む学校が多くありました。また昨年度と比較して、表現力、学習・生活習慣、主体性・意欲を目標に設定する学校が多く見られました。

2 達成状況について

(1) 学校目標の達成状況

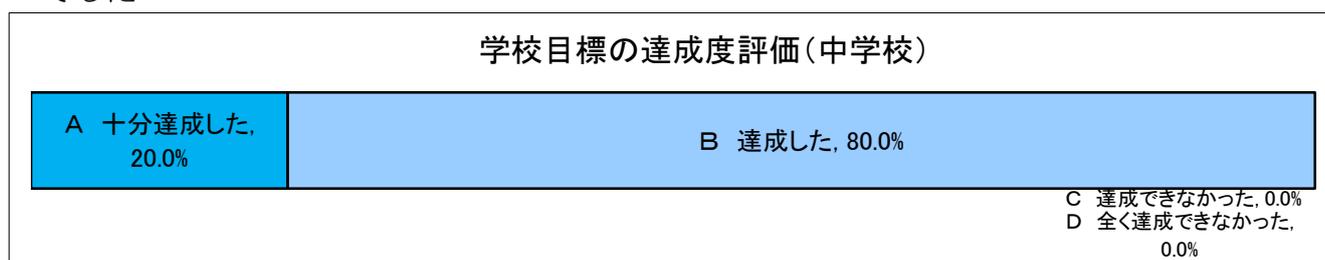
- ・市内小学校の学校目標の達成状況は、

A－9校（19.1%） B－38校（80.9%） C－0校（0%） D－0校（0%）
でした。



- ・市内中学校の学校目標の達成状況は、

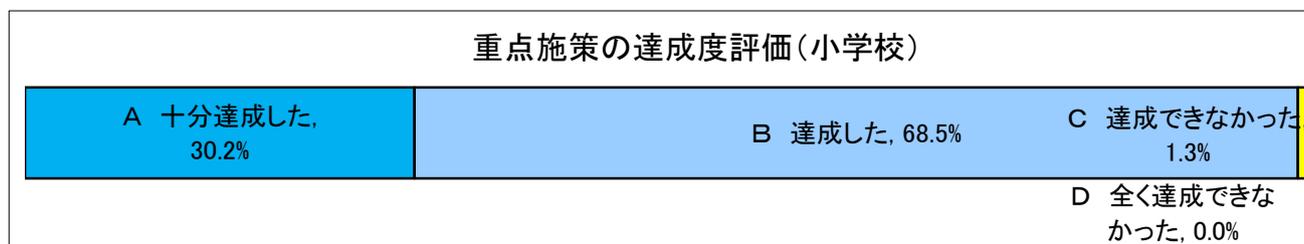
A－5校（20.0%） B－20校（80.0%） C－0校（0%） D－0校（0%）
でした



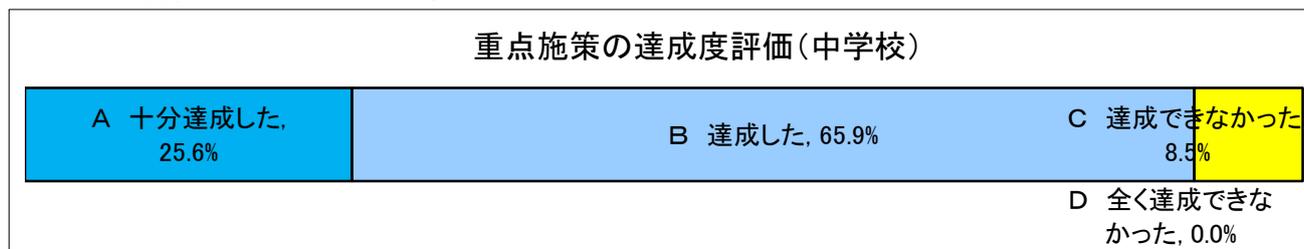
・小中学校とも、A、B合わせると100%になり、すべての学校が今年度の学校目標をおおむね達成されたと評価しています。

(2) 重点施策の達成度状況

- ・学校目標の達成に向けて、各学校では、2～5項目の重点施策を設定し取組を進め、その達成状況を評価基準に照らして評価しました。
- ・市内小学校の重点項目評価の集計結果は、
**A－45項目（30.2%） B－102項目（68.5%） C－2項目（1.3%）
D－0項目（0%）**でした。



- ・市内中学校の重点項目評価の集計結果は、
**A－21項目（25.6%） B－54項目（65.9%） C－7項目（8.5%）
D－0項目（0%）**でした。



・小学校、中学校とも「A十分達成」「B達成」とされた項目が多くありましたが、「C達成できなかった」と評価された項目もあったため、今後の改善方策を検討し、具体的な取り組みの改善を図っていくことが必要です。

3 今後の取り組み

学校評価の結果を真摯に受け止め、児童生徒がよりよい学校生活を送れるよう、学校運営の改善と学校・家庭・地域社会の連携、協力による学校づくりを推進し、教育水準の保障・向上を図っていくことが必要です。